



## 「ごしごし」

育っている姿（自分でやってみようとする気持ち）



~~~~~ : 子どもの育っている姿

今までは保育者にしてもらうことが多かった子どもたちも、保育者がしていることに興味をもったり、少しずつ自分でやってみたいという思いが出てきたりしています。

食事の手洗いでは、保育者と一緒にハンドソープをつけると両手をすり合わせて自分で洗おうとする子どもが増えてきました。自分の手についた泡をじっと見たり、「ごしごし」とささやきながら手を洗ったりする姿も見られます。

保育者に手伝ってもらったり見守られたりしながら手洗いをした後は、保育者の方を見たり蛇口を指差したり、水を出して欲しいことをアピールしています。水が出ると、手をこすり合わせたり、水で手や手首についた泡を流そうとしています。その時に、心地よさを感じることができるよう、「きれいになって気持ちがいいね」と声をかけています。